

繪本武者兵林
中

畫本武者兵林中

平維茂

關羽

武田信玄

田路勘四郎

清水を尋ねる

北條氏綱

森蘭丸

秀吉

遠山六兵衛



2014.3.17

平維茂
とぐし
の
器
神
い
ど



北條氏細
伊勢初め
早雲の
伊豆の
攻入
武野の



三人病
おととと

壯る者
礼とさけ逃

竄る我
夜病と痛て

中氏細
菜とら
与へら

忘を帰

侍をひつ其





ありては信長をのこすは天性の敏く
十六歳にして明智光秀とて
うむまをささりて折る
ひんとてへんを信長
儒弱
つあふさ
のちが
秋



武田信玄は、信州の
の村に生れたる者なり
其の幼少にして、其の
志は、天下の覇を争ふ
に在りて、其の志は、
信玄と云ふなり



武田信玄は、信州の
の村に生れたる者なり
其の幼少にして、其の
志は、天下の覇を争ふ
に在りて、其の志は、
信玄と云ふなり



大將秀吉傳中... 或川を渡り
 本陣の大黒湯... 秀吉經刀を
 拵く二のり切りの大黒ハ
 只千人と云佛と知ハ
 門ありてして
 拵く... 天下と望志アス



大國新羅征伐の時衣笠宗無務敵より向ひ四つとて足神と奉て
衣笠の刀を纏ひのりくくと織くニ三本の小兒を捉へし
小川の源より衣笠の取とせし入くもとの牛んもかき取常
乃破ふ取ふけにかりあへ



田路初甲而地あり
近よせて款をか衣笠
けふ斬殺し衣笠を
とせりしなり



寺は志勿のあ士ま山六藤より
士まちりくくふすくわさ

まておすの大竹と

あまて振り一あめ

まむきバた

ワしとそま

うりくくハ

片ま

分推

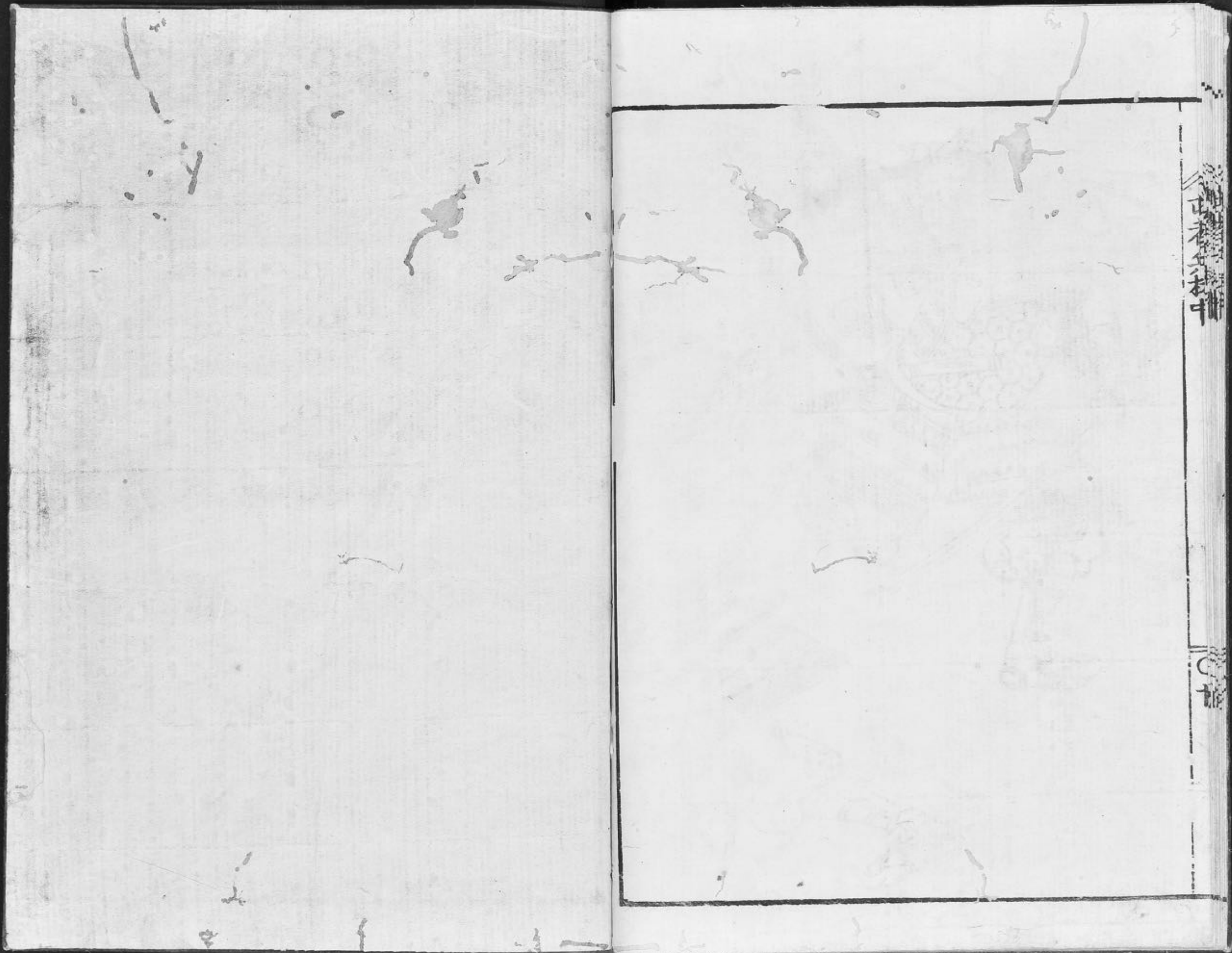
あめ



清水をうらむつ耐ハ糸氏並のあまし母ハ御治の遠
 まくあけつる牛のさく落くまーをりらげー大か
 まか城うけつさ大カの名をゆーと救の合戦
 敵を知らずふーと入人知名を知らず
 とうび

まき





山
林
雜
記
中

卷
十

